



総合学科の創造性 地域の力に

に し め

# 新志芽通信

No.012

令和6年8月28日  
秋田県立西目高等学校

## 《1年 産業社会と人間》

### 卒業生講話 【8月21日(水)】

この3月に卒業した先輩たち7名を迎え、1年生に対して卒業生講話が行われました。1年生のみんなは先輩たちの言葉を一生懸命にメモを取りながら聴いていました。先輩たちのアドバイスは1年生だけでなく、2・3年生にも参考になるはずですよ。1年生はもう一度ふり返りながら、2・3年生は今後の自分の学校生活をより良くすることをイメージしながら読んでみてください。参考になるところはぜひ真似をしてみましょう。



秋田県立大学生物環境学科  
鷹島源さん  
農業科学系列・ボクシング部

私は、学校推薦型選抜で秋田県立大学に入学しました。

この大学を選んだ理由は、秋田キャンパスにある「生物環境学科」で学びたいという強い思いがあったからです。この学科で、八郎潟をはじめとした日本の湖沼などの水質の調査や東北地方に残るブナ林の移り変わり、保全の調査、土壌中に含まれる金属などの物質の浄化等を学んでいます。他にも様々な研究が行われていますが、全ての研究が目指しているものは自然環境の修復・保全です。私は

小学生の頃から、自然を取り巻く環境に心が惹かれており、この大学を目指すことは以前から考えていました。

そんな私が高校在学中に意識したことを3つ紹介します。

1つ目は、「**テスト期間以外でも、授業の復習は欠かせない**」ということです。当たり前の事のように思いますが、私はこれを基本的に毎日続けました。1日に取り組む量はそれほど多いわけではありませんでしたが、少ないからこそ継続することができ、達成感を得られたのだと考えています。

2つ目は、「**部活動に参加し、責任感を養うこと**」です。私は在学中、ボクシング部のキャプテンをしていました。そのため、自分の行いによって部の印象が決まってしまうと考え、ボクシング部の一員として恥ずかしくないように、礼儀正しく行動することを意識しました。この考え方は、どの部活動の部員にも言えることなので、ぜひ意識してみてください。

3つ目は、「**人に応援される人間になるように努めること**」です。2つ目の内容と似ていますが、改めて説明すると、「**礼儀正しく行動すること、謙虚な姿勢でいること**」を心がけるということです。そのような行動をすることは、自分を応援してくれる人が増えることに繋がります。自分を応援してくれる人たちからは、自分が気づかないところで力になってもらえます。このような可能性を信じることで、礼儀にも意味が生まれてくると思います。

2年後、みなさんが理想の進路を歩んでいることを願っています。







新潟医療福祉大学  
須田裕誠さん  
文理系列・サッカー部

私が進路活動を本格的に始めたのは高校2年生の夏休み頃で、今の大学へ進路を決めたのは高校2年生の終わり頃です。今思うと正直、進路決定をするための準備を始めるのが遅かったと感じています。その理由として、1年生のうちから進路活動に取り組んでいなかったため、2年生になりいざ進路活動を始めようと思っても何をすればいいのか分からず、進路活動で躓いてしまったからです。また、1年生のうちからオープンキャンパスに参加していなかったため、自分の求めている条件が揃った大学を見つけるのにとっても時間がかかってしまいました。だから、みなさんには、進路活動はまだ早いと思わず、今から少しずつ進めていって欲しいと思います。また、資料だけでは情報が限られてしまうので、1年生、2年生のうちからオープンキャンパスに参加し、直接見たり体験をしたりすることをおすすめします。そうすることで、新たな魅力に気づくことができたり、面接試験や志願理由書の審査でアピールすることができたりします。さらに、オープンキャンパスに参加したことがきっかけとなり、進路変更につながる場合もあるので、積極的に参加した方が何かと得です。

次に進路決定に至るまでの経緯についてお話しします。

私の進路決定に至るまでの経緯やアドバイスをお話します。

1年生の時は、将来何がしたいのか、進学か就職か決めることができませんでした。興味のある専門学校はあったのですが、そこに進学した後のその先が見えず不安になったため、違う道を親や先生に相談しながら考えました。そこで思い浮かんだのが公務員でした。公務員なら安定している、それに当時自分の夢だった「地域活性化、人々を笑顔にする」という目標と重なったため、2年生の秋ごろから公務員、警察官を目指すようになりました。

頑張ったことは数的処理と判断推理の勉強です。数的処理は数学を生かして解かなければいけない問題で、判断推理はパズルや謎解きみたいな問題です。この2つを繰り返し解きました。講師の方が学校に教えに来てくださった際は自分から積極的に解き方を聞きに行ったりしました。

苦労したことは、試験に落ちてしまった後の切り替えです。合格発表の際に自分の番号がなかったときはショックを受けました。周りの子たちがどんどん合格していくので、一人取り残された感が半端なかったです。だから、切り替えるために、自分の好きなことをたくさんやりました。お菓子を作ったり、ゲームをしたり、音楽を聴いたりしました。そして、落ち着いたあと、すぐ大学の面接ノートを作

私は高校1年生の頃から看護師になって多くの人を救いたいという夢を持っていました。そこで、夢を実現するためには確かな医療技術と知識を身に付けることと、より良い看護を提供するためのチーム医療を学ぶ必要があると考えました。そこで、2つの条件にフォーカスを当て進学先を考えました。1つ目は、「**実際の臨床現場を想定した講義が展開されているかどうか**」です。2つ目は、「**チーム医療を学ぶ事ができるかどうか**」です。この2つの条件を満たしている大学を調べていく中で、今通っている新潟医療福祉大学の看護学部看護学科を見つけました。この大学は、日本で唯一、医療のみの学部学科で構成されている大学であるという魅力の他に、チーム医療と実際の臨床現場を想定して行われるシミュレーション教育に力を入れているという魅力がありました。これを知ったときは「この大学しかない」と考え、第1志望に決めました。また、実際にオープンキャンパスに参加した際、この大学ならではの魅力を大いに体験できたことで、ここで学びたいと強く思いました。

最後に、私が進路活動をする中で1番役に立ったものを紹介します。それは「自分ノート」です。「自分ノート」とは自分の趣味や好きなこと、長所短所、将来の夢など自分に関する事を細かく記し、自分の事を徹底的に理解するためのものです。このノートは主に志願理由書や自己アピール書の作成や面接試験で活用しました。特に面接試験では、このノートがあったおかげで、自分の気持ちを試験官にしっかりと伝え、自分をアピールすることができたと思っています。ぜひ「自分ノート」を作ってみてください。みなさん、これからの進路活動をぜひ頑張ってください。

り、面接練習をしました。先生方のサポートもあり、無事に大学に進むことができました。

公務員試験は、たとえ日頃から真面目に生活していても、筆記の結果が良くないと普通に落とされて、面接すらさせてもらえないので気を付けてください。

みなさんには、3年間いろんなことに挑戦してほしいです。資格取得や部活動で好成績を残すとかいろいろあると思います。初めからあきらめるのではなく「頑張ろう」「やってみよう」という気持ちで挑戦してみてください。たとえその結果がダメだったとしても、この挑戦してみようという「気持ち」と頑張った「過程」は、自分の成長に大きな影響を与えると思います。私も大学では、教員免許取得を目指したり、インターンシップに行ったりといろんなことに挑戦しています。高校3年間はあっという間なので、1日1日を大切に過ごしてください。



ノースアジア大学  
佐藤由菜さん  
教養文化系

突然ですが、みなさんは進路について考えているでしょうか？

私が高校に入学した頃の頃、進学にするか就職にするか迷ってました。しかし、新型コロナの影響で県外への往来が困難になったため、消去法で県内就職にしよう決めました。その中でTDKを選んだ理由は、正直なところ、収入が安定していると思ったからです。

おそらくですが、みなさんの中にもTDKを目指している人が少なからずいると思います。ですが、TDKでの業務内容がどのようなものか、はっきり分かる人はあまりいないのではないのでしょうか。大丈夫です。私も全然分かりませんでした。物を作る以外に具体的に何をしているのかなんて知る必要がないんじゃないかと思っていました。

1年生の頃はこのような具体性のない目標を掲げ、2年生までずっと遊びほうけていました。しかし、3年生になり部活を引退した途端、遊ぶ時間がなくなりました。面接練習や履歴書の作成、過去問の勉強など、やらなければならないことがたくさん出てきたのです。

このままではまずいと思った私は、以下の3つを目標に決めて取り組みました。

1つ目は、「TDKについて調べること」です。面接の例を一つ挙げると、「TDKに入社したら何の仕事がしたいですか」など、TDKについてあらかじめ知っておかないと答えるのが難しい質問があります。そのため、会社のことをより良く知るために、長期休みを利用して職場見学に行ったり、会社のホームページを見てみるなど、TDKについて少しずつでも知識を増やしよう努力しました。

2つ目に、「定期考査を頑張る」ことです。定期考査の結果は進学・就職関係なく進路先の決定に大きく影響します。そのため、普段から評定を意識した勉強に取り組んでおくことが大切です。TDKの試験は、国語、数学、英語の3教科が主に出題されます。試験では短い時間にどれだけ多くの問題を的確に答えられるかが求められます。そのため、普段から問題を素早く解く練習をしておかない

と、試験で全ての問題を解ききれないということになってしまいます。考査に対して「別に赤点取らなければいいや」というぐらいで取り組んでいると、いつか私のように後悔することになってしまいかもしれません。そうならないためにも、普段から考査の勉強を頑張っておいてください。

3つ目は、「少しずつで良いので、進路のための準備をしておくこと」です。履歴書に、部活の成績や資格の取得について記入する欄があります。部活に入っている人は、多少は欄を埋めることができますが、部活に所属してなく、何も資格をとっていないと書く内容がありません。それでは受験先から良い印象を持ってもらえません。だから、資格取得やボランティアなど、少し頑張らなければいけないような事にも積極的にチャレンジした方がいいと思います。

以上が私が高校で取り組んできたことです。

今回の内容をもう一度まとめると、「進路先について調べておくこと」「定期考査を頑張っておくこと」「少しずつで良いので、進路のための準備をしておくこと」ということになります。これら3つを心がけて高校生活を送れると後悔が少ないのではないかと思います。

高校3年間はあっという間に過ぎていってしまいます。だから、勉強はもちろん大事ですが、友だちと遊んだり、学校行事を全力で取り組んだりするなど、楽しい思い出をたくさん作ってください。



TDK株式会社  
森田琉為さん  
教養文化系列・弓道部



森建設工業株式会社  
佐藤匠真さん  
土木系列

令和6年度に卒業し、現在はにかほ市にある森建設工業株式会社に所属し、施工管理技士として土木関係の仕事をしています。今日は、進路活動での経験などを話したいと思います。

進路決定に至るまでの経緯として、私は、学生るとき大きく2つのことを軸に進路決定をしました。1つ目は「土木系列で2年間学んだことを生かすことのできる仕事に就く」こと、2つ目は「県内に就職し、自分が生まれ育った地元これからもっと貢献していく」ということです。

進路決定の軸を決めた理由は、高校2年生のときに行ったインターンシップにあります。私は建設会社に行き、実際の仕事を体験して、一つ一つの仕事にやりがいがあり、面白いと感じました。また、自分たちが作った物を地図や地元に残すことができることに達成感が得られると感じました。そこで私は将来建設業に携わりたいと思うようになり、それが進路決定の軸になりました。

現在の会社に入社したいと思ったきっかけは友人でした。私は、どこの会社に入ろうかすごく悩んでいました。その時友人から森建設工業のインターンシップの話聞き、興味を抱きました。そして、すぐにインターネットなどで調べてみました。森建設工業は、受け持っている仕事の幅が広く、自分自身のスキルアップにつながると思ったこと、福利厚生がしっかりしていてとても働きがいがあり、将来的にも安定している会社だと感じたことをきっかけに、私は、この会社で働いてみたいと思うようになりました。



森建設工業は、入社前の筆記試験などはほとんどなく、面接試験だけだったので、面接で自分の意見をはっきり言うように、自己分析を徹底的に行い、簡潔に分かりやすく話せるように事前の準備をしました。

みなさんの中で自分の就きたい仕事が今のうちから決まっている人は多くはないと思いますが、3年生になると「面接ノート」という、面接練習で使用するメモ帳を作ることになります。それに面接対策として長所や短所、自己PRなどを書くので、今のうちから自己分析をしておくとうよいと思います。自己分析をすることによって、何が自分の強みか、何が自分には足りないのかを理解でき、その結果を進路に繋げることができます。例えば、高いコミュニケーション能力を持っていることが強みなら、主に営業職や接客業が向いていると分かります。逆にコミュニケーション能力が自分には足りないと思う場合には、友達や先生、家族などと積極的に話すなどして人と話すことに慣れておくといった対策ができます。

部活を一生懸命やることや友人と遊ぶこともすごく大切ですが、将来のことを今のうちから少しずつ考えて、3年生になってから、もっと早くから考えておけばよかったと後悔しないようすることがとても重要です。興味を持った仕事があれば自分で調べてみたり、勉強を頑張っただけでも評価を良くしたり、積極的に資格を取得したりするなど、今からでもできることはたくさんあります。早いうちから準備をしておくのは、後から自分の将来にプラスになる他、いざ3年生になって進路を考えると、スムーズに決めることができます。自分の進路に対しては、余裕を持って準備をしておくことをおすすめします。

西目高校は総合学科で、系列によって専門的な知識を学ぶ事のできる恵まれた環境が揃っている学校であると思います。みなさんには、これから西目高校で学ぶことをたくさん吸収し、行事などを全力で楽しんで、大人になったときこの高校を選んで良かったと思えるよう悔いのない学校生活を送って欲しいです。

## 勉強の仕方について④

今回は、地歴公民の勉強の仕方について紹介します。地歴公民は人名や出来事などを「覚える」のが基本ですが、その覚え方にはコツがあります。その一つのヒントとして、下の文章を読んでみてください。

### 1 学習方法

学習の基本はインプットとアウトプットです。この基本をベースに私がオススメする学習方法は「教科書を読む(インプット)→覚える→ノートに書く(アウトプット)」です。

### 2 読む→覚える→書く

学習方法を「憲法」を例に説明します。

【憲法(本文)】

憲法とは、政府による権力の、国家の組織のあり方などを定めるものであり、すべての法の基礎となる最高法規である。憲法によって政府の権力に枠をはめ、その範囲内でしか行使できないようにするのが立憲主義である。

(『現代社会』東京書籍)

【読む】

読むときは「本文の重要箇所(本質)」を見極めることです。重要箇所(本質)を見分けるコツは「本文をその言葉だけで説明できるか?」です。本文で重要箇所は1~2割です。これらを意識して、本文を読むと「**憲法**」「**政府の権力**」「**範囲内でしか行使できない**」「**立憲主義**」の4つが重要であることがわかるはずですよ。

【覚える】

覚えるときは「**文章**」をイメージすることです。「**憲法**」「**政府の権力**」「**範囲内でしか行使できない**」「**立憲主義**」をそれぞれ覚えるのは大変です。

「**憲法は立憲主義で政府の権力を制限する。制限の範囲は憲法で決める。**」自分なりにアレンジを加えて、文章にすることでグッと覚えやすくなります。さらに、語句だけでなく、内容の理解も深まります。

【書く】

書くときは「**一文**」にすることです。「覚える」でイメージした文章をシンプルにします。「**憲法は立憲主義である。**」考えて読む、覚える、書くことにより、内容はここまで削ることができます。

【まとめ】

「語句や内容を覚えていないのでは?」と思うかも知れませんが、読む、覚える、書くの段階で「考える」を繰り返すことで「一文」で書けたときには内容も知識も身につけているはずですよ。

### 3 最後に

「**漠然と読む、覚える、書く**」は作業です。「**考えて読む、覚える、書く**」が学習です。作業は繰り返すほどに上手になりますが、知識は増えていきません。学習は繰り返すほどに上手になり、知識も増えていきます。

3年間で知識を身に付けるためにも「作業」ではなく「学習」に取り組んでいきましょう。